



第 132 号
 ISHIKAWA
 編集 発行
 石川県公立小中学校
 教育事務研究会



県事務研マスコットキャラクター
 イシカワケンジ

研究大会特集号!

8月23日に地場産業振興センターで開催された「第65回石川県公立小中学校教育事務研究会」の特集です。



前川会長

開会行事

前川明美会長のあいさつの後、石川県教育委員会事務局 教職員課担当課長 中條隆史様、金沢市教育委員会 学校職員課課長 地下雅志様、石川県小中学校長会 会長 辻和久様よりご祝辞をいただきました。金沢教育事務所 所長 村本治男様、石川県PTA連合会 会長 宇田 直人様にご臨席いただきました。来賓の皆様、公務ご多用の中ありがとうございました。



中條 様



地下 様



辻 様



村本 様



宇田 様

行政説明

「令和の日本型学校教育」の構築に向けた本県の取組について
 石川県教育委員会学校指導課 課長補佐 廣澤 健吾 氏

今後 society5.0 の時代をむかえるにあたって子供たちには予測困難なことに対応する力が求められており、そのために令和の日本型学校教育では「主体的で対話的で深い学び」の実現がポイントになっていることを教えていただきました。ICT を効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを充実させていくにあたり、環境整備という点において事務職員の方々のご支援が今まで以上に必要になってきます、というお話もありました。実際に GIGA 推進校の3年生算数の授業の動画で、1人1台端末によって子供たちがそれぞれ自分のペースで学習に向かっている様子や、1人の回答を瞬時に全体で共有している様子を見せていただきました。



講演会

講師：石川県知事 馳 浩 氏

会場との対話形式で会は進められました。学校現場における現状や事務職員の職務や待遇に係わることから知事の毎朝のルーティーンについてまで幅広いお話をお聞かせいただきました。学校事務職員の声に耳を傾けていただき感謝申し上げます。



研究委員会報告

全事研福井大会での分科会発表の流れやそれまでの経緯などが報告されました。今回は事前交流や全事研投稿システムの活用など新しい試みでご苦労されたと思います。仮想共同学校事務室体験をメインに、実りある学校に帰ったときに実践につながるような分科会にさせていただきました。まさに藤原文雄先生のアドバイス通り「学びの主人公となる分科会運営」でした。全国大会での発表という大役、ありがとうございました！



全事研投稿システムもぜひ

チェックしましょう ⇒

※全事研Webログイン後→会員ルーム→実践事例データベースから専用フォームでのコメント入力となっています。
※皆様からのコメントはリアルタイムで閲覧できます。是非御覧ください。



分科会 I (能美)

「人材育成・業務改善・画一化された情報の発信」

3つのグループに分かれて研究活動を行っており、それぞれの成果や課題の報告がありました。経験年数の浅い方が多い中、自分達の資質向上と学校の業務改善を両立している様子が分かりました。

グループ1 「人材育成」～若手職員のスキルアップを目指して～

- ・各種業務研修
- ・業務確認簿の作成

グループ2 「業務改善」～ICTを活用して～

- ・能美市財務システムマニュアル作成
- ・ICTを活用した備品点検
- ・予算要求資料作成

グループ3 「画一化された情報の発信」

- ・教育事務の手引きの作成
- ・事務だより「てとり川」の作成
- ・研究会共通様式の作成



感想

- ・若手職員が自ら学ぶ姿勢を持つことができた

課題

- ・若手職員の資質・能力向上を目指す
- ・地区研修会でミニ研修を行う



分科会Ⅱ（白山・野々市）

「共同学校事務室、共同実施の現状と課題」

白山市では令和元年度より共同実施の試行が始まり、令和5年度からは共同学校事務室の試行となっており、その成果と課題が報告されました。従来のマニュアル整備やシステム導入というイメージとは違った成果も知ることができました。

成果 ・昨年度白山市内では複数の欠員が生じたが、4割以上の事務職員が業務支援を行った。

課題 ・共同学校事務室の設置 → 「試行」からの脱却を目指す

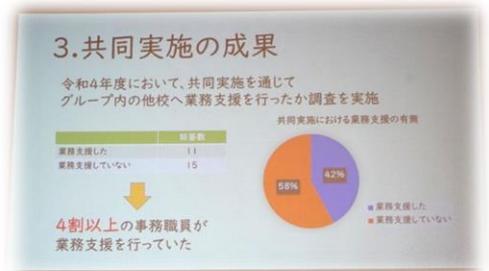
・事務職員の加配 → 「事務機能の強化」につなげる

野々市市では令和3年より共同学校事務室が設置されており、設置までの経緯や主な取組が報告されました。具体的な成果と課題を知ることによって他地区でも共同学校事務室とは？をイメージすることができました。

実践①「もしもシリーズ」による様式等の整備 → 事務の平準化、効率化

実践②人材育成 → 事務職員の資質向上、初任者層へのフォロー

実践③給食費及び指定教材費の公会計化 → 市教委と連携しながら業務改善



閉会行事



採用2年目の若手の皆さんから「どんな事務職員になりたいか」「今がんばっていること」を発表していただきました。フレッシュな仲間が増えて本当に嬉しいです。

研究大会の運営お疲れさまでした



運営委員の皆さん

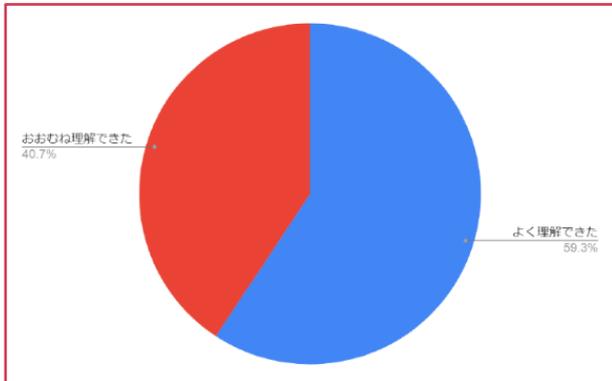


役員、実行委員の皆さん



研究大会アンケート結果より (抜粋)

県教委行政説明について、内容はいかがでしたか？



- ことばだけをよく聞く「令和の日本型学校教育」について、大変わかりやすく解説していただきありがとうございます。いしかわ学びの指針12か条も、もう一度その視点で見直したいです。授業をなかなか見に行けていませんが、もう少し積極的に行き、事務の面からサポートしていきたいです。
- 大変分かりやすいお話でした。大型テレビ、クロームブックを使った授業の実践事例が見られ、昔とは違う授業の様子が見られて良かった。



分科会Ⅰ（能美）について、内容はいかがでしたか？

- ・ 事務職員の課題の一つである、若手職員のスキルアップに着目して頻繁に実務研修を取り入れているところが印象に残りました。このような研修があると疑問点も質問しやすく、色々な方の意見も聞けると思うので、若手職員はとても助かると思います。
- ・ 共同学校事務室であれ、実施であれ、そのような名前のない研究会であれ、みんなの困り感や取組は同じなんだな、と思いました。新しい取り組みを行う際、どうしても消極的になってしまう部分も多いですが、能美地区の積極性を見習いたいです。

分科会Ⅱ（白山野々市）について、内容はいかがでしたか？



- ・ 共同学校事務室だからこそできること、視野が広がっていること。様々な実践がとても新鮮でした。受け身ではなく、目標達成のためにマンダラシートを活用して、努力を積み重ねてこられた上での現状であるというところに感銘を受けました。自分の市でも、実現に向けて頑張っていきたいと思いました。
- ・ 野々市の共同学校事務室は、理想的だと思った。粘り強く取り組んだ成果だと思うが、教育委員会や校長会などが協力的でうやましく感じた。白山市の共同実施・共同学校事務室試行は、金沢市でも参考にできることがありそうだった。分科会の内容、発表、進行すべてすばらしかった。

研究集録、アンケート結果がホームページにアップされています。
ぜひご覧ください！